

東北大学大学院情報科学研究科
言語変化・変異研究ユニット主催

チュートリアルのご案内

講師

家入 葉子 先生

(京都大学大学院文学研究科 教授)

日時： 3月27日(木) 14時 ~ 16時半
場所： 情報科学研究科棟 3階 小講義室

題目：「言語変化への気づき——英訳聖書の利用から」

概要：

英語史研究の面白さを大きく左右するものに、言語変化を捉えるマクロな視点と、言語資料へのこだわりがあります。現代英語研究では、できるだけ偏りのない資料を利用することで普遍性を求めようとしますが、英語史研究では、そもそも残存している資料が、個性豊かな特別な人々によって書かれた文献である場合が多いことを前提としています。したがって、これまで誰も調査の対象とすることがなかったような資料への取り組みが、大きな成果につながることも少なくありません。しかし、この資料の問題は経験と偶然の組み合わせによるところが大きく、今回のようなチュートリアルにはなじまないのが残念なところです。そこで本チュートリアルでは、もう一つの重要なテーマである「言語変化を捉えるマクロな視点」を考えてみたいと思います。英訳聖書は誰もが研究の対象とするような資料ではありますが、時代感覚の拡張のためのツールとしてはきわめてすぐれていると言えるでしょう。討論形式で、具体的な研究テーマを検討します。

参加を希望される方は事前のご連絡が必要です（参加費不要）

本講演会は、東北大学運営費交付金、科学研究費・基盤研究(C)「史的コーパスを活用した日英語の動詞と形容詞の文法化についての統語論的研究」、および、東北大学「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」交付金による補助を受けています。

問い合わせ先： 小川芳樹 (ogawa@ling.human.is.tohoku.ac.jp)

長野明子 (nagano@ling.human.is.tohoku.ac.jp)

言語変化・変異研究ユニット URL: <http://ling.human.is.tohoku.ac.jp/change/home.html>